

私立大学図書館協会 2012 年度第 2 回国際図書館協力委員会議事要録

日 時：2012 年 6 月 22 日（金）13：00～17：30

場 所：龍谷大学アバンティ響都ホール 会議室

出席者：太平龍玄（愛知学院大学）、今村太朗（関西学院大学）、長島敏樹（委員長・慶應義塾大学）、

合田豊二（東京農業大学）、木村千鶴（広島修道大学）、鈴木直子（明治学院大学）

会長校：伊藤秀弥（立教大学）

事務局：鈴木有紀（慶應義塾大学）

配布資料

- 1-1) 2012 年度国際図書館協力シンポジウム実施案
- 1-2) JTB 法人東京見積書
- 1-3) 2012 年度国際図書館協力シンポジウム 関係経費予測
- 1-4) 2012 年度国際図書館協力シンポジウム 業務一覧
- 1-5) 参考) 2010 年度国際図書館協力シンポジウム進行表
- 2-1) 2012 年度第 1 回搬送事業申請
- 2-2) 寄贈資料搬送申請書
- 3-1) 国際協力基金支援企業一覧
- 3-2) 2011 年度国際協力基金支援企業への報告書類一式
- 3-3) 2012 年度国際協力基金支援依頼文書一式
- 4-1) 2012 年度海外認定研修について（ご案内）
- 4-2) 海外認定研修申請書
- 5-1) 2012 年度海外集合研修 業者提案一式
- 5-2) 2012 年度海外集合研修（短期研修）の参加者募集について（ご案内）
- 5-3) 2012 年度海外集合研修参加申込書

同日午前、委員長が龍谷大学図書館を訪問し、図書館事務部長他関係者に対して、国際図書館協力シンポジウム会場の提供に謝意を表するとともに、今後の運営へのご協力をお願いした。

また会議に先立ち、会場となる龍谷大学アバンティ響都ホールの下見を行った。龍谷大学の村上孝弘氏が下見および本委員会の審議事項 1 まで同席した。会議終了後、レセプション会場の下見を行った。

報告事項

1. 2011 年度第 2 回寄贈資料搬送事業

各大学からの搬出後、6 月までに全て現地到着したことが報告された。

審議事項

1. 2012 年度国際図書館協力シンポジウムの実施（資料 1）

委員長から調整の経緯を報告後、業務委託範囲、委員の役割分担、会費徴収範囲等について決定した。なおテーマは、『大学図書館における学習支援を考える』に変更する。

今後、会場担当者や委託業者等と調整の上引き続き準備を進める。

2. 2012年度第1回寄贈資料搬送事業の採択（資料2）

審議の上、申請のあった1件（国際大学よりタンザニア Institute of Rural Development Planning 宛寄贈）について採択と決定した。結果については会長校より申請校へ書面にて通知する。

3. 2012年度国際図書館協力基金への支援依頼について（資料3）

2011年度支援企業への報告文書を確認し、今回から基金規程を報告文書には含めないことにした。

2012年度の各委員の依頼先分担を確認。依頼文書が整い次第、各委員から依頼を開始する。

4. 2012年度海外認定研修の実施（資料4）

まず募集要項および申請書の書式は、他の研修（海外集合研修・海外派遣研修）と可能な範囲で揃えることとした。

その上で、海外認定研修の募集要項については証憑書類原本の説明を追加し、研修報告書の提出方法はメール添付に変更することにした。

7月中に募集開始、締切日は2012年11月30日とする。

5. 2012年度海外集合研修の実施（資料5）

委員長から調整の経緯を報告後、委託業者の提案を検討した。審議の結果、基本的には提案を了承。但し使用する交通機関および費用について業者に再度調整を依頼することとした。

研修テーマは「東アジアにおける電子化推進図書館を見る」に決定した。7月中に募集開始できるよう調整を進める。

6. 次回の開催予定

10月12日(金) 13:00・東京農業大学 食と農の博物館にて開催する。

なお、併せて海外集合研修の応募者面接も実施する予定。

以上